

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。

高大接続事業

専大北上高自動車科が実習体験



自動車工学センターの職員から
エンジンの構造を聞く高校生

専修大学北上高校自動車科として本学を訪れ、10月27日、28日の2日間、自動車工学センターで自動車実習を体験した。

石巻市消防団 辞令交付式

地域防災の担い手に 学生5人が新制度に参加



石巻市消防団長から辞令が交付された

逸見亮太さん（経営1・山形県山形市立商業高）、真坂蔵人さん（理工1・東京都東京電機大学高）の5人が参加した。若い世代の消防団員確保を目的に、本学の学生に消防団として参加してもらう独自の制度で、石巻専修大学として今年新設された。学生消防団員は、市消防団本部付の特別消防団員として規律訓練や救命救急講習などを受講するほか、災害発生時は危険を伴わない後方支援活動に加わる。

当日は辞令交付式に続いて、齋藤正美石巻市長を表敬訪問。その後、第1回の講習が行われ、学生たちは真剣な表情で消防活動について学んでいた。

中国・東北電力大学から 初の交換留学生5人が来日



仙台空港に到着した5人

本学の国際交流協定校である東北電力大学（中国吉林省）からの交換留学生が10月17日に来日した。

5人は来年8月まで人間学部人間文化学科に所属し、日本語や日本文化を学ぶ。

尾池学長（左奥）と懇談する留学生たち



尾池学長は「日本人学生と積極的にコミュニケーションを取ることが大事。日本と中国は隣国で、共通点があれば相違点もある。お互いの違いを認め、相手に対する理解を深めながら日本での生活を楽しくしてほしい」と激励の言葉を送った。

東北電力大学で日本語を専攻している5人はそれぞれ、一人ずつ自己紹介を行った。

先輩が就活のノウハウ伝える 進路支援ガイダンス

本学進路支援係によるガイダンス「4年生生内定者に直接聴けるチャンス！ 就職活動体験談」が10月20日、3年ぶりに対面形式で開かれ、3年次生約100人が参加した。

当日は、企業・団体から内定を得た4年次生10人が、就職活動のノウハウ、自己PRの方法、SPIテスト対策などを後輩たちに伝えた。面接の際に質問されたことやコロナ禍で工夫したことなど、実体験に基づく具体的な話も多く、参加者は熱心にメモを取りながら耳を傾けていた。

本格的な就職活動を間近に控えた3年次生からは「何が必要で、何に気を付けなければいけないか、参考になる話をたくさん聞くことができた」「就職活動の開始が近づいていることを改めて実感した。今後はよりアクティブに動くことと思う」など、前向きな感想が多く聞かれた。

進路支援係では今後、人事採用担当者が伝える「書類選考・面接の通過ポイントとは（12/15）」「就職活動総まとめ講座（1/19）」などを開催予定。詳細は「in Campus」で。

石巻のディープな魅力紹介

経営・庄子ゼミ 街歩きイベント



ゼミ生の案内で商店街を散策する参加者

文学賞・映像賞の実行委員会に企画している。同賞は3県に足を運び、様々な文章や映像を募集するもの。今回の街歩きは、石巻を来訪したばかりの庄子ゼミ生13人と人間学部の遠藤郁子ゼミ生3人がガイドを務めた。

石巻専修大学生がアテンションするディープな石巻歩きが10月15日に実施された。本学は今年度「岩手・宮城・福島 MIRAI」

石巻専修大学×ポプラ社
いしのまき
子ども未来スクール
ウインタースクール

石巻の動物博士になろう
講師：辻 大和 理工学部准教授

【日時】11月27日(日)14～16時
【会場】石巻専修大学
【対象】石巻市内の小学4～6年生
【定員】30人（先着）

いしのまき子ども未来スクール実行委員会
contact@kuchibueshoten.co.jp

ミによるリボン・アートのフェスティバルの取り組みを紹介するなど、石巻専大生らしい視点で街の見どころを案内した。そのほか、ニュース博物館「石巻ニューゼ」では、震災直後に石巻日新聞社が号外として発行した「手書き壁新聞」の実物を見学。参加者も学生たちも石巻をより深く知り、その歴史や魅力を感じた。感想を述べた。